

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ
第27回文法研究ワークショップ
「言語記述と文法化をめぐる諸問題2」
開催のお知らせ・募集要項

言語記述では、それぞれの言語記号が、なんらかの範疇に分類できることが暗黙の了解となっていますが、現実には、分類がうまくいかないことがしばしばあります。そして、言語というものが、絶え間なく変化し続けるものであると考えると、こうした分類に関する曖昧性のなかには、言語が段階的な変化の過程にあることに起因するものもあると想起できます。このワークショップでは、言語変化に関する妥当な仮説が、共時的観察における曖昧性を理解するための説明原理となる可能性について議論します。

記

1. 開催日時：2025年2月8日（土）14:00–17:00
2. 開催形態・場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所大会議室（3階303）
／Zoom会議室（招待メールは開始1時間前までに参加者にお送りします）
3. プログラム：

13:50	開室
14:00–14:15	古本真（AA研ジュニア・フェロー） 趣旨説明
14:15–14:55	松岡葵（日本学術振興会／東京外国語大学） 「類義関係と補充法のはざま：福岡県柳川方言における「不完全な補充法」に焦点をあてて」
14:55–15:35	松岡秀哉（大阪大学／日本学術振興会） 「アラビア語とハウサ語をめぐる指示語の文法記述について」
15:35–16:15	Mathieu Beaudouin（日本学術振興会／AA研） “The Tangut heuristics of labels and types in language description”
16:15–16:30	休憩
16:30–17:00	参加者全員 全体討論

コーディネーター：古本真（AA研ジュニア・フェロー）
コメンテーター：白田理人（広島大学）

4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生

※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。

5. 定員：対面参加 20 名程度（オンライン参加の上限はありません）

6. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、ご登録ください。

なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。



URL:

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeuffjCnV8AYTTrAeCdQl1oLjk6FDUd7XHS9Q7qmXsabOn-Vw/viewform?usp=pp_url

7. 申込締切：2月5日（水）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

8. 問い合わせ先：

「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」事務局

dddling-office [at] tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信ください）

9. その他：

- ・ワークショップは日本語と英語でおこないます。
- ・参加は無料です。
- ・当日は東京外国語大学のネットワークが利用可能です。また eduroam も利用可能です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※文法研究ワークショップは、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。過去のワークショップにつきましては、以下をご覧ください。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws>

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」

以上